

短期予報解説資料 2025年7月12日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 東シナ海の上層寒冷低気圧 (UCL) と11日21時に発生した熱帯低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、南西諸島と西日本太平洋側では、雷を検知、激しい雨や非常に激しい雨を解析。宮崎県で土砂災害警戒情報を発表。
- ② 24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧が、小笠原近海に停滞。
- ③ 500hPa 5880m以上の上空の高気圧が朝鮮半島付近に停滞。千島の東の高気圧が北・東日本～日本海に張り出している。
- ④ 500hPa 5880m付近で-6℃以下の寒気を伴うトラフが東日本を南東進。伊豆諸島付近にのびる前線近傍で雷を検知、激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項③の上空の高気圧は、12日は朝鮮半島付近に停滞。13日は、東日本付近に移動、14日は日本のはるか東の亜熱帯高気圧に取り込まれて不明瞭になる。西～東日本では13日にかけて、晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症など健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。また、気温の上昇と南海上から流れ込む下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。落雷や突風、降ひょうに注意し、短時間強雨に注意・警戒。
- ② 1項①の熱帯低気圧は、12日は東シナ海に停滞、13日は九州の西に進む。14日は、朝鮮半島付近に南下する500hPa 5700m以下の寒冷渦に対応して、朝までに対馬海峡付近で発生する低気圧が発達しながら日本海西部に進み、熱帯低気圧は不明瞭化しつつ西日本太平洋側に進む。熱帯低気圧や低気圧に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で、南西諸島や西日本では大気の状態が不安定になり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。九州南部では、これまでの大雨の影響で地盤が緩み、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。土砂災害に厳重に警戒。
- ③ 1項②の小笠原近海の熱帯低気圧は、24時間以内に台風発達し、13日にかけて小笠原近海を北上し、14日は伊豆諸島の東から三陸沖に進む。熱帯低気圧や台風の周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなりしける所がある。また、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。小笠原諸島では14日にかけて、東日本では13～14日は、北日本では14日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本とするが、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：九州南部150、奄美120mm。② 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西～北日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「発達する熱帯低気圧に関する情報(総合情報)」を5時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。